



田川地区平和センター

Email tagawachiku-heiwa@sound.ocn.ne.jp

BLOG tagawachiku-heiwa.blog.ocn.ne.jp

編集発行
田川地区平和運動推進
労働組合センター教宣部
鶴岡市泉町8番57号
TEL 0235-22-1776
FAX 0235-22-1973



キャンドルウォーク

沖繩連帯

「沖繩の歴史を学び、沖繩と連帯する」

6・23「慰霊の日」、講演とキャンドルウォーク(2018年8号再掲載)

6月23日、沖繩の「慰霊の日」に合わせて高退連の小泉さんから「沖繩の歴史を学び、沖繩と連帯する」と題して、講演がありました。

私のこれまで観光地のイメージしかなかった沖繩について学ぶ機会を得、私たちが沖繩を差別している内容に衝撃を受けました。それは、米軍基地をずっと沖繩に押し付けているという差別でした。

沖繩はかつて琉球王国という非武装の独立国でしたが、1609年に薩摩藩が侵攻し、武力で支配されました。その後、日本国の一部とする琉球処分により、琉球藩、沖繩県と変遷してきましたが、その過程で沖繩の人々を日本人化するため、信仰や文化の否定、言語統一による方言の撲滅など、まさに植民地のような

扱いをしてきたのでした。

その後、アジア太平洋戦争が始まると、日本軍が飛行場の建設や実戦部隊の配備を進め、沖繩を前線基地とし、終戦間際には本土を防衛するために沖繩が「捨て石」にされ、12万人以上の県民が犠牲になったのでした。

終戦後、沖繩はアメリカに統治され基地の建設が進められました。石川県、長野県、群馬県、岐阜県、山梨県などにも基地建設が計画されましたが、反対闘争により基地を断念させたことは知りませんでした。その結果、岐阜や山梨の海兵隊基地が沖繩に移駐され、アメリカの占領統治が続く中で本土は基地問題に無関心になりました。1972年5月15日、沖繩が日本に復帰後も、国及び沖繩県以外の、沖繩県民に対する基地の押しつけは今なお続いています。そしてこのことは、日本の国内法や憲法よりも上位にある日米安全保障条約及び日米地位協定等により合法とされているのです。

日本はアメリカと対等、同盟国だと報じられていますが、アメリカは日本を植民地と認識していることを改めて痛感しました。それならば沖繩で相次ぐ強姦や強盗、殺人やひき逃げ、飛行機墜落といった事件・事故が続いていることに、納得できず、戦いで勝った国が負けた国のことを思いやる必要はないからです。そして日本政府も、本土で

『沖繩県の慰霊祭で14歳少女が平和の詩「生きる」を朗読。鎮魂歌も届け。悲しみの過去に。命よ響け。生きゆく未来に。私は今を、生きていく。浦添市立港川中学校3年の相良倫子さん(14歳)が、7分半におよぶ自作の平和の詩「生きる」を力強く朗読し、不戦を誓い、未来の平和を築く決意を込めました。』



『沖繩県の慰霊祭で14歳少女が平和の詩「生きる」を朗読。鎮魂歌も届け。悲しみの過去に。命よ響け。生きゆく未来に。私は今を、生きていく。浦添市立港川中学校3年の相良倫子さん(14歳)が、7分半におよぶ自作の平和の詩「生きる」を力強く朗読し、不戦を誓い、未来の平和を築く決意を込めました。』

そういつた事件・事故が起こらないよう、沖繩に基地を押し付けてきたのだと理解しました。少なくとも日本政府は沖繩県民を同じ日本人だと思っていないし、多くの国民もそのことに無関心なのです。これは全く差別以外の何物でもありません。心ある少数の方々が、沖繩と連帯し辺野古基地新建設に反対したり、沖繩の基地を本土に引き取るための活動を行っています。日本から米軍基地を撤退させることが出来ないならば、私も基地を本土に引き取るこ

とに賛成です。基地を本土に引き取ることで沖繩の負担や苦悩を和らげ、共有しなければならぬと思います。全くの私見ですが、各地の自衛隊駐屯地に米軍基地を併設することはできないものでしょうが、米軍兵士が犯罪を起こさないよう、自衛隊の負担は増えますが、監視してもらえないものでしょうか。

明治時代の足尾銅山事件や高度成長期における水俣病といった公害被害者、福島原発事故の被災者、そして沖繩戦や事件・事故の被害者は皆先人によって引き起こされた人災の被害者と言えます。本来支援されるべき方々であるはずなのに、差別され、見て見ぬふりをされてきたのです。国民一人一人が考えを改め、声をあげていかなければならないと感じました。

講演の後は、鶴岡公園からみゆき橋を経由するキャンドルウォークを行いました。6月23日が慰霊の日ということもこれまで知りませんでした。日本軍の司令官が自決したこと、組織的戦闘が終了した日と聞き、違和感を覚えました。慰霊すべきは否応なく戦争に巻き込まれ、自決を強要され、差別的な扱いの中で亡くなられた沖繩県民だと思えます。別の日にすべきとの意見もあるとのことでしたので、実現されるよう応援したいと思います。

石川 伸也(平和センター幹事・鶴岡市職労)

《東北労働金庫鶴岡支店》
生活応援バンク 鶴岡市末広町1-12
TEL22-3147
ろうきん 労働者のための、ふれ愛バンクです

こくみん共済 COOP <全労済>
共済 ショップ 鶴岡
鶴岡市泉町8-73 TEL 23-6100
全国労働者共済生活協同組合連合会

いつまでも住みつづけられるまちづくりをめざして!
生活協同組合 共立社
COOP 本部 鶴岡市宝田一丁目3-23
TEL0235-22-5110 FAX23-9148